

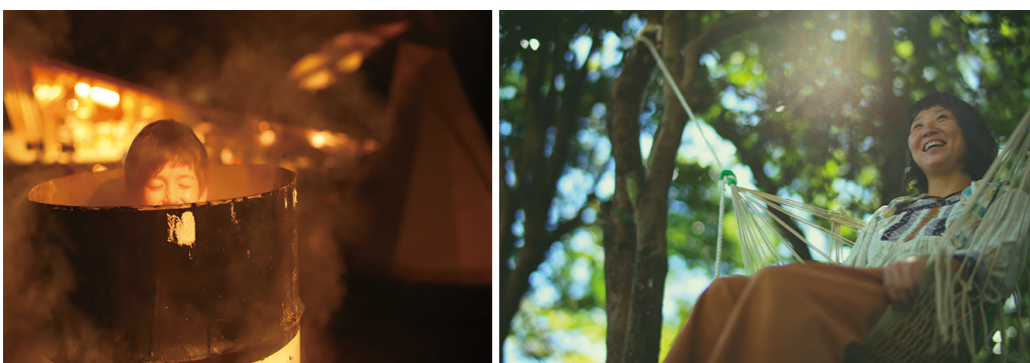


全体コンセプト

日本で初めての森の入口施設森を知る「0から1へ」  
森と親しむはじめての一步を morinos がサポート

子どもから大人まで森に親しみ、つながりを体験できる森林環境教育の拠点である。国土の2/3を占め、岐阜県では8割以上を占める森林は、用材としての造林だけでなく、感性を育む空間利用や、豊かな生態系の維持、防災機能などを備える貴重な資源だ。豊かな森を身近に感じるように、子どもから大人、個人から企業研修まで、森林体験プログラムや森のようちえんなど、多面的活用をサポートする開かれた施設として建物随所に工夫を施している。いつ来ても面白い。誰が来ても楽しめる。人を育む地域拠点を担っている。

## すべての人と森をつなぐ



### 3 すべての人に健康と福祉を

## 高い環境性能で健康に



真冬はポカポカ心地よく、夏は冷房のよく効く明るいカフェスペース

#### ゴール3 達成に向けた取り組み

### 温熱

- ・LOW-Eトリプルガラスやセルローズファイバー断熱材の高い断熱性能で心地よい温度域
- ・大きな日射熱取得でポカポカした心地よさ
- ・人に気流を当てない床下空調+薪ストーブ放射暖房で適度な温度ムラをつくり自分の居場所を見つける

### 光と風

- ・豊かなスペクトルの昼光を最大限に利用
- ・開閉できる開口部を多く配置した通風性能で周囲の森林や緑化された外構の気持ちいい風の取り込み
- ・空気環境や衛生環境を確保

### 自然素材

- ・木材、土などほぼ自然素材で作られる
- ・有害物質を出さない素材の選定
- ・高効率照明機器スペクトルの良いLED照明を細かく制御
- ・防犯対策24時間管理システムの採用

### 4 質の高い教育をみんなに

## 充実した学び・働く環境



CASBEE <sup>®</sup> -ウェルネスオフィス   評価結果	
1-1 建物概要	1-2 評価/バラン
建物名称: morinos	用途: 複合施設
所在地: 岐阜県岐阜市	床面積: 200㎡
用途地域: 市街地	平均滞在人数: 20人
地域区分: 市街地	年間使用人数: 5,000人(年間平均)
建物用途: 複合施設	評価の期間: 運用段階評価
竣工年: 2020年3月	評価の実施日: 2021年10月12日
総床面積: 10,000㎡	評価者: 建築士
延床面積: 129㎡	建築年: 2021年10月12日
延床面積: 129㎡	建築者: 建築士
2-1 総合評価	2-2 大項目の評価(レーダーチャート)
Rank: S 75.4 / 100	
★★★★★ > 75	
★★★★☆ 65	
★★★☆☆ 50	
★★☆☆☆ 40	
★☆☆☆☆ < 40	

- ・学習・執務環境に適した温熱、空気、光環境の実測と整備
- ・フリーアドレス方式の学習スペースを確保
- ・カウンターやテーブルなど、その時々に応じて場所を選べる
- ・可動テーブルと床下コンセントであらゆる場面に対応
- ・フリーWifiの無線LANを完備(建物周辺の外部含む)
- ・「見せる収納庫」で森の道具へ興味関心を高める
- ・スタッフが来場者の安全を管理しやすいガラス張りの外壁
- ・充実した図書の置かれたカフェコーナー
- ・赤ちゃんを寝かせられる広い座面のソファも設置

#### ゴール4 達成に向けた取り組み



可動テーブルとスクリーンでフレキシブルな空間利用

- ・「CASBEE-ウェルネスオフィス」(客観的評価)でSランク評価(75.4点/100点)
- ・「CASBEE-オフィス環境チェックリスト」(主観的評価)をスタッフに実施し詳細版で74%、簡易版で76%の評価概ね客観的評価と一致

# 11 住み続けられるまちづくりを

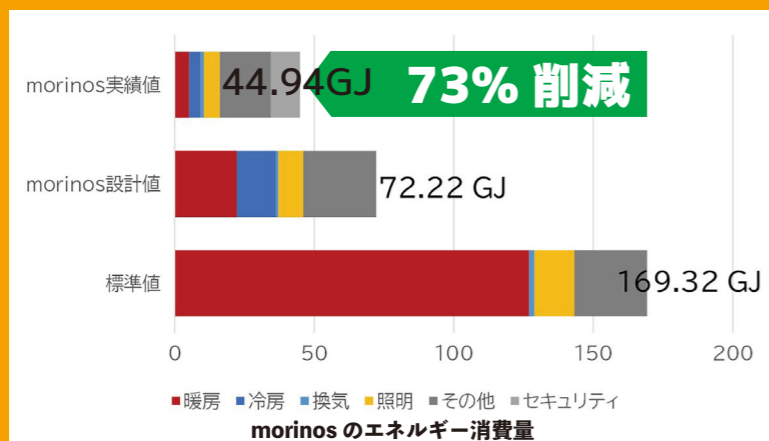
ゴール 11 達成に向けた取り組み

## 地域に開くレジリエントデザイン



足のうらの感覚を取り戻す「はだし広場」

- ・誰でも使える、地域に開かれたオープンな施設
  - ・みんなでデザインした「はだしの広場」
  - ・深い軒下にコミュニケーションスペースを確保
  - ・Hügelkultur（フーゲル床栽培）や Insektenhotel（虫の家）で地域の生物多様性を体験し生物環境の保全と創出
  - ・良好な景観形成に配慮した素材の選定やボリュームの検討
- レジリエントデザイン - 環境性能
- ・PAL\* を半減させた省エネでランニングコストを低減
  - ・一年間の実測データでエネルギー消費 73%削減を実現
- レジリエントデザイン - 耐震性能
- ・1.6 倍の耐震性能を確保
  - ・常時微動測定の実測で効果を確認



広い軒下で交流を生む



蜂などが暮らすホテル「ムシノス」

# 12 つくる責任 つかう責任

ゴール 12 達成に向けた取り組み

## 地域材利用と長寿命化の取り組み



丸太柱上部を倒し深い軒先で雨掛かり低減

総合評価		AAA	AA	A	B	C
【地域の林業・木材産業への貢献】	ウッドマイルズ 123 km	★★★★★	★★★★	★★★	★★	★
【木材のトレーサビリティの確保】	流通把握度 77.5 %	★★★★★	★★★★	★★★	★★	★
【木材の輸送エネルギー削減】	CO2削減率 80.3 %	★★★★★	★★★★	★★★	★★	★

- ・深い軒先による雨がかりの低減
- ・下地含め全木材を県内地域材とし持続可能性を高める
- ・新技術を含めた多様な木材利用方法のショールーム
- ・ウッドマイルズ評価で輸送時のCO2を80%削減
- ・トレーサビリティ確保木材の流通把握度77%
- ・通気層で躯体と外壁等を切り離し内部結露を抑える
- ・摩擦に強い新技術「圧縮スギフローリング」
- ・敷地内の粘土、県内の土、ヒノキ樹皮の左官材料
- ・解体時に分別の容易性で廃棄物の削減
- ・雨水利用の井戸で雨、地面、川、海、雲、雨の循環を学ぶ
- ・常時実測による環境性能の効果を確認



水の循環を学べる雨水利用は、井戸を知らない子どもたちに大人気

# 17 パートナーシップで目標を達成しよう

ゴール 17 達成に向けた取り組み

## 協働でできた morinos



アカデミー学生 + 隈研吾氏 + ドイツロッテンブルク林業大学の基本設計報告会

今までもこれからも みんなでつくり続ける morinos

- ・森のようちえん、プレーパーク（子どもの学習機会の創出）
- ・林業学生と教員「三つ紐切り」保存会
- ・地元大工職人の手刻みで優れた技術の継承に寄与
- ・ロッテンブルク林業大学との連携による視察やWS
- ・特別招聘教授 隈研吾氏の意匠原案と、狹土秀平氏による作品「十二単の左官壁」
- ・アカデミー学生の設計WSと左官WS
- ・飛騨産業、清水建設、住友林業など企業連携



狹土秀平氏と学生の土壁WS



四方転びの丸太を刻む棟梁



伊勢神宮の御用材伐採などで披露される「三つ紐伐り（みつひもぎり）」を実施